

I. 協会の使命 (Mission)

会員行の（経営課題の）お役に立つ、それを通じて社会のお役に立つ

※ 定款上の目的:会員の健全な発達を図り、もって公共の利益を増進する

II. 協会の機能

協会が有する3つのコア機能を発揮して、会員行に貢献する

① 情報のハブ機能※ ②実務の支援機能 ③人材の育成支援機能

※ 会員行・当局・外部専門家等とのネットワークの拡充・進化を通じ、協会がハブとして、情報を収集分析整理した上で、会員行が必要とする情報や多様な意見交換・交流等の場を提供する。

III. 環境認識

① 経済金融環境

- ・ 海外の金融経済動向や地政学リスク等、我が国金融経済を巡る引き続き高い不確実性
- ・ 地域経済の構造問題（人口減少、市場縮小）の加速化
- ・ 顧客企業の価格転嫁・賃上げのばらつき、人手不足の深刻化
- ・ 我が国における「金利のある世界」の一段の進展や「貯蓄から投資」への流れの強まりの可能性
- ・ 他業態/金融サービスに参入する異業種との競争激化

② 地域銀行への期待

- ・ 地域金融力の更なる発揮（事業者支援・事業承継・地域活性化・GXの具体化…等）
- ・ DX/AI活用の加速による金融サービスの高度化・生産性向上
- ・ 経営管理態勢の高度化（人的資本経営、リスク管理、サイバー、特殊詐欺対応等）

③ ステークホルダーとの関係等

- ・ 株主・投資家等とのエンゲージメントの要請/CG改革への対応等
- ・ 多様な従業員が生き活きと活躍できる環境整備
- ・ 政策金融機関との連携・役割分担

IV. 取組み方針

以下の基本的な方針に基づき、次表の5つの柱に即して事業に取り組む。

- ① 多様化する会員行のニーズに的確に応える。個別行の課題や類似課題を有する銀行にも可能な限り対応する。
- ② 会員行相互や外部との密接な交流や対話の場を提供し、会員行各層の相互理解も一層深めつつ、各々の経営課題の解決につなげる。
- ③ 将来的な視点も踏まえ協会の業務運営や業務プロセスを不断に見直す。また、事務局の限られたリソースは効果的・効率的に活用する。

V. 取組み内容

会員行の以下の取組みに資する支援（情報の整理提供、会員行各層の交流・対話の場の提供、関係主体への発信等）を進める。そのために、協会自身の効果的・効率的な運営に努める。

<p>① ビジネスモデルの構築</p>	<p>地域の成長を支える金融仲介機能の高度化に向けた取組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少社会の到来も見据えた、地域金融力・金融仲介機能の更なる発揮（事業者支援・事業承継・地域活性化・GX等） ・ 非金融分野（異業種・行政等）との連携も含めた地域貢献/地域課題解決 ・ 調達基盤の強化を含めたバランスシートの適切な運営 ・ ソリューション営業力の強化
<p>② 生産性の向上</p>	<p>業務運営の高度化・効率化に資する基盤整備に向けた取組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 店舗戦略、BPR等の検討 ・ AI活用、DX/デジタル化推進 ・ 手形小切手・税公金の電子化の推進 ・ 非競争分野での連携強化（サイバー、マネロン等）
<p>③ 人材育成等</p>	<p>経営戦略に沿った人材確保・育成等に向けた取組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な人材の活用・育成 ・ 経営人材、マネジメント層、中間層の育成・強化 ・ 専門人材（DX、GX等）の確保・育成
<p>④ 経営管理態勢・経営基盤の強化</p>	<p>リスク管理態勢・ガバナンス等の強化に向けた取組みを支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な業務運営体制の構築と各行の経営戦略に応じたリスク管理等 <ul style="list-style-type: none"> －各種リスク管理態勢（ALM、信用、市場、AML/CFT、サイバー、オペ等）の強化と実効性のある内部監査 －決済インフラ等の高度化（全銀システム、CBDC等） －顧客本位の業務運営の更なる浸透、金融経済教育の普及 ・ 制度対応等 <ul style="list-style-type: none"> －会計制度（会計基準、IFRS等）への実務対応 －開示対応（サステナビリティ、政策保有株等）の充実 ・ 経営基盤の強化等 <ul style="list-style-type: none"> －人的資本経営の実践（従業員エンゲージメント向上、最適な配置・育成の検討…等） －ステークホルダーとの対話（PBR、資本政策等）
<p>⑤ 協会の機能の効果的・効率的な発揮</p>	<p>堅確な事務の継続、限られたリソースでの将来を見据えた効果的・効率的な業務運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員行への分かり易い情報発信 ・ 当局等とのリレーション ・ 協会共同事業の的確な運営・見直し ・ 職員の育成/生産性向上に資する職場環境の整備 ・ 応益負担の浸透